



蔵王の空に夢かける

－ 自立 創造 友愛 －



第 1 号

令和7年8月21日発行

蔵王キャンパスが開校して4ヶ月が経ちました。入学後は緊張した面持ちで過ごしていた生徒でしたが、蔵王高校2・3年生の皆さんに温かく迎えられ、穏やかな雰囲気のもと充実した学校生活を送っています。今後も蔵王高校の先輩方が創り上げた伝統や校風、特色ある活動を大切に、さらに活気溢れる学校づくりに向けて力を発揮することを願います。

さて、この度、保護者の皆様をはじめ、地域の方々に本キャンパスの取組を広く紹介するために、学校便りを発行することといたしました。本紙を通して、学校や生徒の取組に対する理解を深めていただければと思います。タイトルの「蔵王の空に夢かける」は、蔵王高校から受け継いだキャンパス校歌の冒頭の歌詞です。雄大な蔵王連峰にかかる青空に、希望に満ちた若者の夢が飛び交う様がイメージされる爽やかなフレーズです。生徒の皆さんは、キャンパス校訓「自立・創造・友愛」を念頭に置いた学校生活を送るとともに、互いに認め合い、高め合い、それぞれの夢が大空を翔るよう頑張っていきましょう！今号では、4月から7月までの主な取組について紹介します。



蕾が開き始めた校門前の桜の樹の下で、高校生活スタートの記念写真を撮影しました。蔵王キャンパスのスタートです。



蔵王キャンパス開校！ － 高校生活はじめの一步 －

入学後の1週間は、学校生活に関するオリエンテーションを実施しました。期間中は級友との親睦を深めるためにモルックを体験したり、ジオ・ガーデン(花壇)を整備したりするなどしました。また、蔵王高校2・3年生の皆さんによる「あすなろ会入会式(生徒会入会式)」や「対面式(部活動・愛好会紹介)」が実施され、会場が大きな笑いに包まれました。高校生活に対する不安が吹き飛び、和やかな一時を過ごすことができました。



初めてモルックを経験しましたが、皆で楽しくゲームに取り組むことで、心のハードルを下げることができました。



クラブ・ジオパーク活動の一環として、ジオガーデン(花壇)の整備にも取り組んでいます。6月には校地内が彩り豊かになりました。



蔵王高校の先輩方に温かく迎えていただき、安心して高校生活のスタートを切ることができました。

安全・安心な学校生活を目指して － しなやかに、たくましく －

蔵王高校では地域の特性に応じた防災学習を推進してきましたが、蔵王キャンパスでも同様に取り組んでいます。4月には避難所運営ゲーム「HUG」を実施し、避難者の属性に応じた避難場所の割当や、避難所内で発生する様々な出来事への対処などについてシミュレーション学習に取り組みました。また、7月までに行った2回の防災訓練では、大雨による学校裏手の松川の洪水や、蔵王山の噴火による融雪型火山泥流の発生を想定した垂直避難訓練を行いました。2回目の訓練では、蔵王町防災専門監の方より、蔵王山の火山活動の状況や溶岩流・火山灰等の火山災害についても教えていただきました。



学校が避難所となったことを想定して、地域に生きる高校生として何ができるか、知恵を出し合いました。

よりよい生き方を求めて － 自他を認め、未来の自分に思いを馳せる －

5月に実施した「前期あすなろ会総会(生徒総会)」では、本年度の委員会や部活動の活動計画等を確認し、学校生活の課題を考えて意見・要望を提出しました。各学年とも、よりよい学校生活に向けた意識を高めることができましたようです。また、同月には、社会人に求められるコミュニケーションや高校卒業後の進路・ライフプランに関する学習にも取り組みました。コミュニケーションスキルの学習では、自己表現(自己開示)や受容的な態度など、上手な人付き合いの方法を学び、今後の学校生活で互いに安心して過ごすために何が必要かを考えることができました。進路ガイダンスでは、将来の生活や職業、人生設計を考えるための基礎講座や企業・上級学校等のガイダンスを受講し、卒業後の進路目標と自身の高校生活を重ね合わせ、改善点等を考えました。



生徒総会は、学校生活の課題を自分事としてとらえ、主権者としてどうあるべきかを考えるきっかけとなりました。



コミュニケーションスキルの向上を目指して、SST(ソーシャルスキルトレーニング)に取り組みました。

地域を学び、地域に生きる － 知る・つなげる・広げる・深く掘る －



ジオ・ウォークラリーでは遠刈田温泉までの8kmの区間を歩きました。道中の弁天大橋や疣岩円形分水工では、火山防災を目的とした河川改修、地域の特徴に応じた利水の知恵について学びました。

5月に蔵王町ジオパーク推進室・ボランティアガイドの皆さんの協力を得て、ジオ・ウォークラリーとジオ・フィールドワークを実施しました。ウォークラリーではガイドさんの案内により、弁天大橋や土木遺産「疣岩円形分水工」、刈田嶺神社を巡り、河川水の特徴や利活用、遠刈田の歴史や伝承などについて学びました。また、フィールドワークでは、ジオパークの象徴である刈田岳「御釜」をはじめ、「駒草平」や「澄川・濁川合流点」の各スポットで地理・地学・防災の視点を織り交ぜたレクチャーを受け、学びに広がりをもたせることができました。6月にはこれらの学習成果を踏まえて、10月に実施予定の「ジオ・ツアー」のツアープランを考えました。

7月には、ジオ・ツアー本番に向けての予行としてプレツアーを実施しました。ツアーでは、蔵王高校2年生の皆さんがツアーガイド(説明・レクチャー)を、蔵王キャンパス1年生はお客様の誘導・案内を担当しました。プレツアーでの実践的活動を通して、新たな課題などを見出すことができましたようです。



ジオ・フィールドワークで巡った御釜周辺や駒草平では、地形や岩石の特徴をガイドの皆さんに教えていただきました。また、防災の視点から噴火の歴史や火山災害について学びました。

プレツアーでは、認定ガイドの皆さんをお客様として活動しました。いただいたアドバイスをもとに、本番ではお客様ファーストの精神で頑張りたいと思います。

各スポットの安全面に配慮しながら、おもてなしの心をもって、お客様を誘導するのは大変です。ウォークラリーなどでお世話になったガイドの皆さんの苦労を実感しました。



今後とも、蔵王高校・白石高校蔵王キャンパスに温かな御声援をお願いします！

保護者の方へ

- 学校ホームページの内容は随時更新しております。また、週間予定については一斉メールで毎週末に連絡しておりますので、御確認ください。
- 学校便りは、今後も随時発行してまいります。次の発行は10月下旬を予定しています。



学校ホームページには上のQRコードからアクセスできます。

宮城県白石高等学校蔵王キャンパス

〒989-0851 宮城県刈田郡蔵王町大字曲竹字濁川添赤岩1-7
TEL 0224-33-2005 FAX 0224-33-2034
ホームページURL <https://zao-ca.myswan.ed.jp/>